

令和七年度 川俣町中央公民館開催
文化財講座

川俣の俳諧

はいかい

江戸時代から明治時代にかけて

川俣には多くの俳人たちがおりました。

当時の人々にとって、俳諧は娯楽であり教養であり、

ひいては地域の文化水準を示す指標の一つとも言えます。

今回の講座では、俳諧を嗜む人々の存在に注目し、

養蚕業による経済的な繁栄の陰で見過ごされがちな

川俣の文化的側面について紹介します。

講師：山田 英明 氏

【公益財団法人福島県文化振興財団 歴史資料課】
川俣町文化財保護審議会委員

日時：令和8年3月14日（土）
午前10時30分～12時

場所：川俣町中央公民館1階
第1・2展示研修室

※参加無料・事前のお申込みは不要です

日のめくるだけは薫るや稲の花

渡辺 桑月

炎天や蟻のひくほと動く松

大内 壺山

川俣出身の俳人の句

『福島県俳人事典』
(矢部椿郎編・昭和30年発行)より

【問い合わせ】川俣町中央公民館（生涯学習課 歴史・文化係）024 - 565 - 2434